

■第6回 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）策定委員会 会議録■

日時 : 平成20年11月18日（火）19時～21時
場所 : 武蔵野総合体育館会議室（3階）
出席者 : 委員 本村清人、河上一雄、大町洋、本郷伸一、赤萩恵子、和田明子、守屋るり子
後藤信義、古矢武士、萱場和裕
欠席委員 : 島本康子、茨木信
: 庁内ワーキングチーム 大久保宏、鈴木早代子、柴田直子
事務局 : 担当課職員 西川和延（生涯学習スポーツ課副参事）、茂木孝雄（生涯学習スポーツ課
スポーツ振興係長）
: コンサルタント 黒崎晋司・木藤直隆（株式会社 地域計画建築研究所）
傍聴人 : 3人

－ 議事要旨 －

□開会

□資料確認

本日の次第、「武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 中間報告」「資料 2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 施策の体系（案） 事業案別」「第5回策定委員会会議録」

□会長挨拶

委員長 : 現在、「武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 中間報告」について、パブリックコメントを実施している。前回の委員会から修正された「武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 中間報告」の内容について、事務局から説明いただきたい。そのうえで、本日は、これまでの内容について、あまりテーマを限定せずに委員の皆さまから様々なご意見をいただきたいと考えている。

□議事

（1）武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 中間報告について

事務局 : 「武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 中間報告」と「資料 2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 施策の体系（案） 事業案別」について、主に修正した箇所の内容を説明した。

○「資料 1 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 中間報告」

- ・11月15日号の市報でパブリックコメントの募集を掲載するとともに、市の主な公共施設に「武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 中間報告」を配布した。
- ・基本的には、前回のご議論から大幅な修正を要するご意見は無かったことから、大きく修正はしていない。
- ・「Ⅴ 現状と課題」のうち「スポーツを楽しむ機会の充実」について、「現状」に関する文言を整理し、「課題」で、「潜在的にスポーツやレクリエーションに関心や興味を持ち、身体を動かしたいと思っている人に対し、実践できる機会や情報提供の充実について具体策の検討が必要です。」という形で文章を修正した。

- ・「Ⅵ 基本理念」のうち、「ひと」の視点の部分の文章を若干修正するとともに、キャッチフレーズ案について、前回は2つの案があったところを修正したうえで1つにした。
 - ・「施策の体系」のうち、実現化方策の「基本施策」にある「スポーツ障害などの予防」については、前回ご指摘いただいた点をふまえ、文言を修正した。
 - ・「施策の概要」について、基本的には内容の変更はなく、文言の修正をおこなった。
- 「資料2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 施策の体系（案） 事業案別」
- ・基本施策「スポーツのある風景づくり」の事業案として、「コンパクトスポーツの推進（ラジオ体操、ストリートスポーツ等）」という形で、コンパクトスポーツの事例として記載したスポーツの種目について、文言を修正した。
 - ・基本施策「誰もが楽しめる機会の充実」の事業案として、「多摩障害者スポーツセンター等との連携」という形で文言を修正した。
 - ・基本施策「子どもが親しめるプログラム等の充実」については、重点施策の候補であるが、既存の事業のみが記載されているというご意見をいただいた。本日の検討のなかで、新規事業も含めアイデアをいただきたいと考えている。
 - ・同様に、基本施策「スポーツによる地域の魅力づくり」「地域とのつながり・一体感の形成」「スポーツをつうじた元気な地域づくり」について、前回の委員会で各事業案も含め、基本的には同じ方向性であることから、整理が必要とのご意見をいただいた。本日の検討のなかで、新規事業も含めアイデアをいただきたいと考えている。

委員長：「武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 中間報告」について、まずはご意見いただきたい。

委員：キャッチフレーズは、どのような場面で活用することを想定しているのか。

事務局：キャッチフレーズは、計画書自体は文量が多くなるため、すべてを読まなくても、武蔵野市のスポーツ振興を一言で表現することで、市民がイメージをつかめるようにしていきたい。なおかつ、市民の皆さまに体を動かしてもらいたいという想いを込めていきたい。具体的な活用方法としては、例えば、イベントのお知らせを市報に掲載する際に、一番頭にキャッチフレーズなどをもってくる、あるいはチラシなどに掲載していくイメージだ。

委員：キャッチフレーズは、何か一言でイメージが思い浮かぶものがあると良いと思う。前後の文章も含めて「スポーツ」という文言がないとイメージできないのではないかな。

事務局：現在は、パブリックコメント期間中であり、「武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 中間報告」では1つだけキャッチフレーズ案を出している。キャッチフレーズの使い方も含めてご検討いただきたい。

委員長：「基本理念」については、「ひと」と「地域」の視点から記述している。一言で表現するという意味で、「人も地域も元気に！」という表現でキャッチフレーズ案を出しているのだと思う。ぜひ活用方法含め、アイデアをいただきたい。サブタイトルくらいあると良いのかもしれない。

委員：「人も元気、地域も元気、さあみんなでスポーツしましょう」くらいの文章のほうがスポーツをイメージしやすいと思う。「人」や「地域」を主題にしているのは良いと思う。

副委員長：このキャッチフレーズは、イベントなどでロゴのような形で使うのかどうか。

事務局：良いキャッチフレーズができればそのような活用方法もあるかもしれないが、現状ではそ

ここまで検討してはいない。

委員長：現在、全日本柔道連盟で「柔道ルネッサンス」というキャッチフレーズを出している。勝つことだけを目的とするのではなく、柔道の原点に戻ろうという取組だ。多くの試合会場で横断幕を設置するとともに、そのキャッチフレーズの意味するところを、元オリンピックメダリストや元全日本チャンピオンが言葉で表現するようなこともおこなっている。元チャンピオンの言葉だけに、一般化され周知が図ることができていると思う。

キャッチフレーズは、これからのスポーツ振興計画を具現化するにあたって、使い方は様々な形で考えられると思う。

事務局：今回の「武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）」では、「武蔵野らしさ」というものを出していきたいと考えている。それが、キャッチフレーズにも滲み出てくると良いと思う。

委員：キャッチフレーズは、もう少し分かりやすくする必要があると思う。同時に、サブタイトルもあったほうが良いと思う。「人」という字も平仮名のほうが良いかどうかという考え方もある。また、「人も地域も元気に！」だけでは何をもって元気になるのかが分かりにくい気がするので、表現については工夫が必要だと思う。

サブタイトルには、「スポーツ」に関係するということと、「武蔵野らしさ」について記述していくと良い。「人と地域」という言葉にこだわらなくても良いのかもしれない。

委員：今回の計画の最初に一言で表現される文章であり、色々な想いがつまっているものになると思うので、じっくり考え、計画の全体像がはっきりしてから決めていけば良いと思う。

副委員長：「武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）」は何を目指すのか、目指す方向は何かということをも具体的に示したものが、今回出されているキャッチフレーズ案になるのかどうか。

事務局：事務局では、「人と地域」が今回の計画をつうじて目指したいことのその先にあるものという話になった。そうした議論をふまえ、検討した結果として、このようなキャッチフレーズ案を提示させていただいた。第1回策定委員会の際には、他自治体の計画の事例を紹介させていただいたが、キャッチフレーズはある自治体と無い自治体とある。今回、「武蔵野らしさ」にこだわるということもふまえ、内部的にも作業をおこなってきている。

他自治体の事例を見ると、「スポーツ」や「健康」については語っている。もちろん大事な視点であるが、「スポーツ」や「健康」「元気」をつうじて、さらにどうしていきたいのかということについて、「まちを元気にしていきたい」という想いを込めて「人も地域も」という形で、「元気に！」という未来志向で言葉を止めている。

キャッチフレーズの使われ方としては、イベントなどのチラシやポスターにも使われることもあると思うが、その際の各イベントの見出しには「スポーツ」という言葉も入ってくると思うので、あえて「スポーツ」という言葉を省き、短めにしているところである。

委員長：いくつかヒントをいただいた。パブリックコメントでキャッチフレーズ案が出てくるとも期待しながら、さらに検討していきたい。

副委員長：「基本理念」に、「人」の視点と「地域」の視点が入っている。前回の議論のなかで「まち」と「地域」について、どのような概念のもとに記述しているのかという話があった。

「基本理念」には、「地域づくりや広くまちづくりへ」という文言が入っており、キャッチフレーズについても、「ひととまちも元気に」という表現でも良いのかもしれない。

また、「地域」と「まち」についても、最終的に、どのような概念で記述していくのか整

理をしていく必要があるのではないか。

事務局：前回、「地域」と「まち」について、記述する際に、概念等の整理が必要とのご指摘をいただいた。その部分についても、前回から、「武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 中間報告」を修正している。例えば、15 ページの「Ⅳ（2） スポーツによる地域の活性化」あたりからになるが、「元気な地域づくりを促すことで、広くまちづくりへと波及する」という形で「まちづくり」を「地域づくり」よりもう少し広い概念で表現し、1 つひとつ文章の整理をしている。あくまでも、地域を基礎単位として、そこから元気を広げていきたいという想いで「地域」ということを前面に出した形になっている。

ただ、副委員長からご意見いただいたように、「ひととまちも元気に」というキャッチフレーズ案も確かに考えられるのではないか。

副委員長：15 ページの「Ⅳ（2）① スポーツによる地域の魅力づくり」という基本施策には、「まちづくりへと結実していくような地域でのコーディネート機能を高めていく」という文章がある。これを読むと、「まちづくり」が最後の目的になっていると思う。「地域」を核とし、スポーツを通して、最終的には「まちづくり」へとつなげていくという文章が出てくることになると思う。もう少し文章を整理したほうが良いのではないか。

委員：「まち」や「地域」など色々あるが、一委員の意見として「地域」で良いと思う。「まち」や「地域」の概念について、議論をしても終りはないと思う。両方の言葉に良い部分があるが、スポーツの視点からみると、「まちづくり」はまちの全部をつくるイメージになるように思う。「地域づくり」のほうがすんなりと入っていける言葉のように思う。

同時に、「武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 中間報告」にあるキャッチフレーズ案が活かされるのであれば、「地域」という文言を使うほうが良いと思う。

委員長：何れにしても、15 ページなどの文章を読むと、確かに「地域づくりからまちづくりへ」という流れになっている。16 ページでは、「Ⅳ（2）③ スポーツをつうじた元気な地域づくり」という基本施策がある。「地域づくりからまちづくりへ」と言いながらも、この大きな基本方針「Ⅳ ライフスタイルの構築（育くむ）」の最後の基本施策では、「元気な地域づくり」で文章が終わっている。この辺りについては、もう一度整理していきたい。パブリックコメントであがってくる意見も含め、「地域づくり」と「まちづくり」の言葉の整理を課題として残すとともに、キャッチフレーズについては今後の宿題としたい。

（2）武蔵野市スポーツ振興計画（仮称） 基本施策に対応する事業について（資料 2-1、2-2）

副委員長：基本施策の「スポーツのある風景づくり」のなかに、新規事業案として「コンパクトスポーツの推進（ラジオ体操、ストリートスポーツ等）」というものがある。「ラジオ体操、ストリートスポーツ等」という形で事例を出している。東京都のスポーツ振興計画の推進事業などとも関係してくるのかどうか。位置づけを含めどのように考えているのか教えてほしい。例えば、東京都が大きな事業として推進している「TOKYO体操」の普及についてはどのように考えているのか。

事務局：「TOKYO体操」について、基本的に武蔵野市の計画に入れ込むことは考えていない。「TOKYO体操」は、東京都のオリンピック招致も見据えたなかで新しい取組として始めたものである。問合せなどがあれば紹介していきたいと考えている。

委員：「スポーツのある風景」のイメージについて、「コンパクトスポーツ」というよりは、「広く体を動かす、みんなで集まって余暇を楽しむ」ということを強調すべきではないか。その意味で、ラジオ体操やウォーキングなどは技量がなくても誰もがができるスポーツであり、ここに盛り込むべき事例だと思うがどうか。

同時に、「コンパクトスポーツ」や「ストリートスポーツ」という言葉は、受け手によってはイメージが難しいのではないか。また、適切な言葉かどうかとも思う。

委員長：「スポーツのある風景づくり」の事業案等について、課題としておきたい。

委員：「市民スポーツ功労者の表彰制度の創設」という基本施策がある。武蔵野体育協会でも「スポーツ功労者表彰制度」というものがあるが、どのようなイメージか。

事務局：体育協会で表彰している制度とは、分けていきたいと考えている。対象者などについて、草の根的にがんばっている人や指導者に限らず何かしらスポーツにかかわりのある人なども考えられると思う。同時に、選定方法について市民推薦なども考えられる。それぞれの連盟ごとにも似たような制度を持つ連盟もあるので、整理しつつ、検討していきたい。

委員長：趣旨としては、委員会でも確認をしているので、今後、検討していただきたい。

委員：基本施策「子どもが親しめるプログラム等の充実」にある事業案は、既存のものしかない。実際に活動をしているもの、あるいは「地域子ども館あそべえ」という機関や施設名称なども記載されている。「プログラムの充実」という場合、活動のことか機関のことなのか、何が充実しているのか不明確なのではないか。

事務局：確かに統一感はないように思う。既存の事業とともに、スポーツという視点から体を動かすことを含めた実施主体の名称なども盛り込んでいるため、混在している。今後、新規事業案も含めて整理していきたい。

委員：基本施策「家族・親子で楽しめるスポーツの促進」について、事業案をみると「自然体験」に関する事業が多く示されている。スポーツの視点からもう少し身近な事業なども考えられるのではないか。

事務局：事業名と施設名が一緒になっている部分はある。スポーツの中には、野外活動なども含むと『スポーツ振興法』上位置づけられているため、自然体験事業も組み込んでいる。統一感、事業の方向性について、「家族と親子で楽しめる」という視点からさらに検討していきたい。

以前にも話題として出ていたが、武蔵野市では、各所管で様々な事業をおこなっている。そういった既存の事業を整理するということも今回の計画策定の大きな目的と考えている。

委員：基本施策「子どもが親しめるプログラム等の充実」について、子どもはもっと外で遊ぶということが大事だと思う。その意味で、学校の「校庭開放」など、子どもの遊びを指導するような形のものも大切だと思う。

委員：「地域子ども館あそべえ」の中でも「校庭開放」はおこなっていると思う。

委員：「校庭開放」について、教育委員会の武蔵野スポーツ振興事業団の事業として、第3日曜日の午後に「校庭開放」という形でおこなっている。夏は、各学校のプール開放などもおこなっており、その際はスポーツ指導員、体育指導員、地域の人が運営委員として入る形でスポーツの指導とともに安全管理もしている。

「地域子ども館あそべえ」は、朝の校庭開放、午後の校庭開放とあるが、図書室の開放な

ども含めて遊び場の開放であり、子どもたちが遊びで集う教室的なところにスタッフが入って指導する形である。その際のスタッフの主な仕事は、スポーツという意味での指導員ではなく、安全管理が主である。

「地域子ども館あそべえ」では、館長によっては、土曜日は校庭開放などの時間が長いので、イベントとして、スポーツチャンバラやドッチビーなど、共催という形でスポーツの働きかけを部分的にすることはあると思う。「施設開放」という言葉でくくってしまうと似た名称の委員会もあり、難しいかもしれない。

委員長：基本施策のレベルにおいて、全部で 37 項目もあれば、事業で重複する部分もあると思う。

委員：「むさしのジャンボリー」をおこなっている児童青少年課の管轄で、青少年問題協議会という団体がある。そこでもいろいろな取組をおこなっている。

委員：基本施策「地域の学校・民間企業等の活用」にある事業案として、「武蔵野地域自由大学」が記載されている。スポーツとどのような関係があるのか。

事務局：スポーツに関係する講座が 1 つあることもふまえ、盛り込んでいるところである。

委員：実現化方策の基本施策「スポーツ障害などの予防」のなかに、「医学的な部分において、栄養面など食育も含めた事業があると良いと思う。

委員長：食育という形で表現すると、「地産地消」など様々な分野に広がっていくようにも思う。

委員：スポーツ障害と栄養は関連していると思う。例えば、「メディカルチェック」という機能は必要ではないか。ダイエットなどをする人にとっては、運動だけでなく栄養という観点からの取組について、情報提供していくことも考えられるのではないか。

委員：同じく基本施策「スポーツ障害などの予防」のなかに、「事故等への対応」という項目があるが、これは、どのようなイメージか。

事務局：事故等への対応については、武蔵野スポーツ振興事業団で、例えば、テーピングの巻き方の講座などを開催し、知識を広めていくというイメージで考えている。また、既に、スポーツ健康相談という形では、怪我をしてしまった人が相談に来るような場を、武蔵野スポーツ振興事業団で設けている。怪我をしないようにしていく観点からの取組を検討していきたい。

委員：健康課と健康づくり支援センターの事業について、いくつか所管の確認をしておきたい。基本施策「成人から中高年向けのプログラム等の充実」にある事業案「日本一周メタボ予防講座」と「軽やか若ひざ体操講座」は、健康づくり支援センターの事業になる。同時に、基本施策「高齢者向けのプログラム等の充実」にある「らくらく生活コース」は、今年度、健康課から健康づくり支援センターに移行しているので、修正いただきたい。

また、基本施策「スポーツ障害などの予防」にある健康づくり支援センターが所管する「健康相談」は、どの事業を示しているのか。個別の相談であれば健康課の所管になる。

事務局：健康づくり支援センターが所管すると記載のある「健康相談」については、「健康運動指導士」などの「健康人材バンク」もふまえてイメージしているものであるが、改めて所管も含め内容を確認していきたい。

委員：基本施策「地域とのつながり・一体感の形成」のなかに、事業案として、「地域アスリートの応援」とあるが、どのようなイメージか。昨年度までおこなわれていた「市民大運動会」のように、各小学校区単位の対抗戦のような形や、地域のコミュニティセンターごと

にも様々な取組をおこなっているものもある。どのような形が良いかは分からないが、地域がまとまって、地域対抗でおこなうような取組もこの基本施策とリンクしてくると思う。

事務局：市民大運動会は、地域からの声など様々なご意見を伺うなかで、「現状の形での継続は厳しい」という声も多くあり、今年度に発展的終了を決めた事業である。ご発言にあった対抗戦という形については、地域の一体感の形成という点から考えると極めて分かりやすい取組でもあると思う。自発的にそういった取組を実施しようという声が出てくれば、市としても考えていきたい。

まだ検討段階ではあるが、全市的にではなく、もっと基礎的な小学校区単位程度でおこなう地域のイベントは考えられると思う。もう一度自分たちの地域を見直すという意味も含めて、地域でのつながりや一体感の形成など、スポーツをつうじた地域の活性化につながる部分については、市としても支援をしていきたい。

委員：基本施策「市民の自主的な取組の促進」のなかに「地域の運動会」という項目がある。例えば、親子運動会という形で、地域の青少年問題協議会とPTAが一緒になって、毎年おこなっているところもある。それが、地域とのつながりや一体感の形成ともリンクしてくると思う。

委員：基本施策（重点施策候補）「自宅でできるスポーツの促進」のなかに、「eスポーツ、VTRをみながらのトレーニング」という項目がある。具体的にどのような形で取り組んでいくことを考えているのか。

委員：健康づくり支援センターで、「だんだん体操」という取組を普及させている。ケーブルテレビでも放映されており、ビデオという形で市民に貸すようなこともおこなっている。

事務局：「自宅でできるスポーツの促進」について、スポーツは、人数を揃えたり、用具をいろいろと準備したりしないとできないといったイメージをもっている人もいると思う。そういったイメージを取り除き、例えば、家事をしながらでもスポーツができる、といったイメージを持ってもらいたいと考えている。自然体でスポーツを続けることができると良いと思う。継続していけば一定の効果も得られると思われる。

委員：「重点施策」にしていく必要があるかどうか。

事務局：基本的には、「スポーツをしない人」を巻き込んでいくという目的で重点施策の1つとして位置づけていきたいと考えている。「スポーツをしない人」を取り込んでいくための施策であり、効果についても、一定の効果が認められるのではないかなと思う。

委員：基本施策「地域スポーツの担い手づくりの充実」の事業案に「（仮称）スポーツ人材登録事業」というものがある。「きっかけづくり」から何らかのスポーツに取り組まれる人にとって、基礎は非常に大事だと思う。指導者という視点でみれば、各競技について、基礎をしっかりと教えることができる人を人材登録の重点にできると良いと思う。

スポーツの基礎をしっかりと教えるという項目があっても良いのかもしれない。

例えば、大学生が指導者として派遣されてくることもあるが、大学の4年間で学生が交代してしまうので、継続的な形での指導が難しいといった話もあるようだ。

委員長：単に人材登録をするのではなく、指導力のある人材が必要とのご意見だと思う。

委員：そういう人材を活用するとなると費用も発生してくるのではないかな。仕事を持ちながら指導にあたっている人もいる。なかなか、ボランティアだけでは難しい部分もあると思う。

委員長：ある程度の報酬が必要との話になると、受益者負担という話にもつながってくる。人材登録の関係で、できるだけ指導力のある人材の登録を進めていくということだと思う。

ここまで、大分ご意見をいただいた。これから、パブリックコメントでも市民の方々からご意見が出されてくると思う。それらをふまえて、修正して、次回に改めて検討し、最終的な計画策定につなげていきたい。その過程において、キャッチフレーズのアイデアも出していただきたい。

(3) その他

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。もう一度、修正の必要な点などを整理しつつ、パブリックコメントのご意見等も勘案して、修正したものを次回の策定委員会で確認いただきたい。

委員長：本日の策定委員会を終了したいと思います。

次回、第7回策定委員会の日程 12月9日（火）

- ・会議 18：00～20：00（会場 武蔵野総合体育館 大会議室3階）

第7回以降の予定

- ・第8回：1月15日（木）18：00～20：00 武蔵野市役所西棟412会議室
- ・第9回：2月5日（木）18：00～20：00 武蔵野総合体育館視聴覚室
- ・第10回：2月24日（火）18：00～20：00 武蔵野総合体育館大会議室

以上